

移行アクションプラン [改訂、2008年9月]

これまでの経緯

ICANN が、設立から 10 年、インターネットの一意識別情報システムのグローバル コーディネータとなるという当初のビジョンを達成してきたことは広く認識されています。この地位は、ICANN の利害関係者コミュニティによる継続的な参加によって支えられ、1998 年から 2006 年にかけて米国政府と取り交わされた一連の覚書およびその後に取り交わされた合同プロジェクト合意事項 (JPA: Joint Project Agreement) の中で設定された ICANN 策定目標の達成を通して確立されたものです。

大統領直属の戦略委員会 (PSC: President's Strategy Committee) は、関係諸団体からの意見の聴取、定期的な報告書の発行、および JPA の期限切れの後も ICANN が引き続きその任務を果すために必要なステップについて専門家の勧告を受けるなど、2006 年から各種オプションの調査を実施してきました。

JPA 中間評価プロセス¹では、ICANN が複数の利害関係者からなる民間セクタ主導の組織であり、インターネットの一意識別情報システムをグローバルに調整する責任を負っているということがインターネット コミュニティによって認識されていることがあらためて確認されました。その中では、ICANN がこの役割を果すために必要な最終的なステップが指摘されています。

JPA は 2009 年 9 月に期限切れになります。PSC は、JPA 後の ICANN に要求される諸条件を設定し、関係諸団体に諮問しそれを実施するステップをまとめたこの移行アクションプランを準備しました。

今後の進路

ICANN は引き続き、信頼の置けるインターネット基幹インフラストラクチャ資源のグローバル コーディネータとして機能します。ICANN は、引き続き複数の利害関係者か

¹ 評価プロセスの概要については、次のサイトを参照してください。 <http://www.icann.org/jpa/index.htm#submission>

らなる組織として運営され、民間セクタ²が主導的な役割を果たしますが、政府機関からの支援と勧告も含めて、多様な利害関係者コミュニティに情報が公開され参加を可能にします。これによって、究極的には世界中のすべての人々がそのサービスを利用できるように、インターネット普及の範囲を拡大することができます。

ICANN がその任務を果たすために必要な主要条件

- 1) ICANN は十分なドメイン名乗っ取り対策を講じる。
- 2) ICANN は、複数の利害関係コミュニティに対して十分に責任を持つと共に、政策策定に当たり、その影響を受ける利害関係者による下からの政策策定という原則を維持する。関係諸団体によって構築された ICANN モデルの構造、業務、定款を維持する。これには定期評価も含める。
- 3) ICANN は、将来のグローバルインターネットコミュニティのニーズを満たすことができるように国際化する。
- 4) ICANN は財政上および運営上の安定と信頼性を確保する。
- 5) ICANN はインターネットの一意の識別情報に関して安全で安定した運営を行い、IANA 機能を全うするという技術的使命を遂行する上で、組織および運営の卓越性を維持することに専心する。
- 6) ICANN は、複数の利害関係コミュニティモデルを保持し、政策策定に当たり、その影響を受ける利害関係者による下からの政策策定という原則を維持する。関係諸団体によって構築された ICANN モデルの構造、業務、定款を維持する。これには定期評価も含める。

PSC は、上記の目的を達成するためのイニシアチブとして、以下が適当であると考えています。

1. ドメイン乗っ取りの再発を防ぐには

- 1.1. 影響を受ける利害関係者の幅広い参加を呼びかけることにより、政策策定のための合意を取り付け、圧倒的多数からの要件を確保する。
- 1.2. 大規模かつ多様な支持団体の動員および協力を確保する。
- 1.3. 厳しい独占禁止法が制定されている管轄地域において存在感の維持と強化を目指す。
- 1.4. ベスト プラクティスの透明性対策を導入し続ける。
- 1.5. すべての支持組織、諮問委員会、およびその下部委員会と作業部会の参加者に公的な意思の表明を要求する。
- 1.6. 支持組織、諮問グループ、支持団体への相互参加を許可する。ただし、複数の ICANN 団体における同一の個人または組織による投票は禁止する。

² ICANN の発足以来、「公共セクタ主導」とは異なり、「民間セクタ主導」は、ICANN が政府機関やその公共機関によって運営されているのではなく、国際条約機関によって運営されているものではないことを意味します。

- 1.7. さまざまな管轄地域において ICANN の存在感を確立する方法を含め、世界中の関係者が ICANN との交流を図れるように参加を促進する。

2. コミュニティに対する ICANN の説明責任を強化するには

- 2.1. 明確に定義されたプロセスに基づいて、コミュニティが理事会に対して決定を再検討することを要求できるような追加メカニズムを確立する。
- 2.2. 特殊な状況が発生した場合、コミュニティが理事会を廃止して置き換えることのできる臨時メカニズムを確立する。
- 2.3. 政府諮問委員会の助言機能を維持する。
- 2.4. ICANN の構造、再検討委員会、独立審査パネル、オンブズマンといった機能の定期的な審査を継続していく。
- 2.5. 契約順守および履行を強化および拡大する。

3. ICANN を国際化するには

- 3.1. 本部が米国に留まることを確証するために、ICANN の定款を改定するかどうかを検討する。
- 3.2. 国際的な非営利という地位を獲得するため、ICANN の法的資格を管轄区域で確立する。このような地位の確立には、ICANN の本部以外に米国での法人設立が必要です。
- 3.3. ICANN が世界中のインターネット コミュニティのニーズに対応しやすいように、世界中の地域に必要なに応じて ICANN スタッフを常駐させ、作業部を設置できるような物理的なロケーションを確保し、発展させていく。
- 3.4. 通訳および翻訳サービスの提供を含め、ICANN の多言語化を推進する。

4. 財務および運営上のセキュリティを確保するには

- 4.1. 現在の準備金ポリシーを維持し、強化する。
- 4.2. 別の資金源または追加の資金源を開拓する。
- 4.3. 国際的組織のベスト プラクティスを確実に実現するために、戦略計画、運営計画、および予算作成で蓄積した経験に基づいて ICANN のビジネス プロセスを継続して強化する。

5. 安全で安定した運営を維持するには

- 5.1. 米国政府は、2008 年 7 月に大統領の戦略委員会のコンサルティングへの投稿で、ルート ゾーン ファイルを現在の 3 者間取り決めから移行する計画

はなく、IANA の調達基本契約に準拠した使用可能な能率的手法については米
 国商務省と話し合う必要があることを示唆しました。

支援情報

移行アクション プランで提起された要素に関する履歴情報、リサーチ アドバイス、背
 景情報は、「ICANN における制度信頼性の改善」という付属ドキュメントに記載され
 ています。

協議に関するトピックと協議のタイムライン

この文書では、多数の基本的イニシアチブを推奨しています。それらの多くは、2008
 年前半に実施された JPA 中間評価など、これまで行われた協議で提起されたものです
 。現在、移行アクション プランでは、コミュニティとの詳細な協議において、次の主
 要な疑問点を精査する必要性が重要視されています。

- A. *A. JPA 以降、説明責任のある、安定した安全でドメイン乗っ取りが不可能な国
 際的組織となるため、ICANN に要求される基本的要素が適切かつ十分に特定さ
 れているか?*
- B. 前述のイニシアチブは、目的達成のために十分であるか?
- C. コミュニティと十分な協議を重ね、会則の変更やその他の導入ステップを実施す
 るのに十分な時間的余裕はあるか?

PSC は、「分析と設計」プロジェクトと「導入」プロジェクトという 2 つの具体的な
 作業にプロセスを分割することを推奨しています。まず、「分析と設計」段階は、
 2008 年の終わりまでに完了する必要があります。「導入」には 2009 年前半を費やし
 、2009 年 9 月までには完了して評価できるようにする必要があります。

プロジェクト全体を成功に導くには、多様な関係者コミュニティと協議を重ね、結果を
 コミュニティに常時報告することが不可欠です。PSC は、「分析と設計」プロジェク
 トに関する包括的な協議プロセスを通じてコミュニティを参画させていく予定です。
 2008 年の主要日程は次のとおりです。

- 6 月 13 日： PSC 文書を理事会に提出。
- 6 月 16 日： コメントの募集期間中に PSC 文書を公開。

- 6月22～27日：パリでの打ち合わせ/PSCによる打ち合わせ、公開協議セッション。
- 7月31日：一般からのオンライン コメント募集期間の終了。
- 8～9月中旬：これまで寄せられた募集コメントの PSCによる総括/分析。移行アクション プランの改訂版の作成
- 9月：2回目のコメント募集期間
- 10月：2回目のコメント募集期間の終了
- 10月下旬：募集コメントの PSCによる総括/分析。最終的な移行アクション プランの作成。
- 11月：ICANN 会議 / PSC 会議、最終文書に関する詳細な公開セッション。
- 12月：2009年の導入マイルストーンを含む、ICANN 理事会への最終文書の提出と承認獲得。

また、PSC は対象地域での対外活動にも従事する予定です。

エキスパート諮問グループ

PSC は、「分析と設計」プロジェクトに関する協議を支援するために、エキスパート諮問グループの設立によって得る価値を引き続き模索していきます。

ICANN